

お子さんの窒息事故を防ぎましょう！！

札幌市で、男子児童が給食で出されたプラムの種を喉（のど）に詰まらせて亡くなるという痛ましい事故がありました。

「何でも口に入れる・・・」小さなお子さんには良くあることです。
みんなで注意して、痛ましい事故をなくしましょう！

食べ物による窒息事故を防ぐために

- ・ 食べやすい大きさにして、よく噛んで食べる。
- ・ 食事の時には、なるべく誰かがそばにいて注意している。

気道閉塞を生じた食物の誤えんによる死亡数の推移

年次	総数	(単位:人)									
		0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~29歳	30~44歳	45~64歳	65~79歳	80歳~	不詳
平成13年	4 223	26	8	-	2	18	58	621	1 454	2 035	1
14年	4 187	27	11	3	2	23	60	525	1 406	2 129	1
15年	4 207	16	14	2	4	16	64	504	1 434	2 153	-
16年	4 206	18	15	2	3	17	57	526	1 424	2 144	-
17年	4 485	24	7	3	6	19	63	566	1 467	2 329	1
18年	4 407	18	16	2	1	8	80	553	1 371	2 358	-
19年	4 372	13	12	8	1	11	69	465	1 344	2 449	-
20年	4 727	19	11	1	2	10	66	535	1 418	2 664	1
21年	4 679	15	7	2	1	8	56	532	1 370	2 687	1
22年	4 869	16	9	1	-	12	56	525	1 423	2 826	1

資料:厚生労働省「人口動態調査(確定数)」

平成23年中千葉市における窒息事故統計

傷病名	年齢区分	合計	年齢区分								
			新生児 ~27日	乳幼児 ~6歳	少年 ~12歳 ~17歳		成人 ~29歳 ~39歳 ~49歳			高齢者 ~64歳 65歳~	
外科・内科以外	め	255	2	85	2	3	8	5	7	12	131
	物	8		5	2						1
	物	8		8							
	物	19		3	2	1	4	1	2	5	1
	物	12	2				4	5	1		
	物	43					3	13	10	7	10
	物	6									6
	物	14		5			2				6
	物	28	1	10	2	1	1	1	2	5	5
	物	393	5	116	8	5	22	25	22	30	160

万が一、つまった時のために応急手当を覚えておきましょう

119番通報を誰かに頼み、ただちに以下の方法でつまった物の除去を試みます。

〔背部叩こう打法〕

乳幼児では、口の中に指を入れずに、乳児は片腕にうつぶせに乗せ顔を支えて(図1)、また、少し大きい子は立て膝で太ももがうつぶせにした子のみぞおちを圧迫するようにして(図2)、どちらも頭を低くし、背中のみんちを平手で何度も連続して叩きます。なお、腹部臓器を傷つけないよう力を加減します。



図1 背部叩打法（乳児）



図2 背部叩打法変法
（少し大きい子）

お子さんの万が一に備えて、救命講習会に参加しましょう！！

○消費者庁ホームページ

「こんにやく入りゼリーをはじめとする食品等に起因する窒息事故の防止に 関する取組み」

<http://www.caa.go.jp/safety/index2.html>

○食品安全委員会ホームページ

「食べ物による窒息事故を防ぐために」

<http://www.fsc.go.jp/>

○日本小児科学会ホームページ

<http://www.jpeds.or.jp/>